

多様性を認め合い「誰一人取り残さない」共生

区立幼稚園・小学校・中学校、保護者や地域の方と力を合わせ、豊島区のすべての子供たちが、障害の

「6つの推進プラン」では、それぞれ令和4年度から

推進プラン1

相談事業の充実

- ①教育相談の一層の充実
- ② 就学相談 及び 就学相談委員会 の充実

推進プラン2

特別支援教育の校内支援体制の充実

- ①校内委員会の充実
- ②教育支援チーム等による学校等支援の充実
- ③学級運営補助員等の配置と活用

推進プラン3

交流及び共同学習の推進

- ①意義やねらい等についての理解促進
- ②実施に向けた体制の構築
- ③連続性のある多様な学びの場を生かした特別支援教育の充実

豊島区特別支援教育推進計画(わかりやすい版)

① 小学校・中学校での取組

小学校・中学校に通うすべての子供たちが、障害のあり、なしに関わらず、交流したり共同で学んだりする取組を充実し、相互理解を深めていきます。



交流および共同学習の推進

- 特別支援学級の子供と通常学級の子供が、相互の触れ合いを通じて豊かな人間性を育むとともに、授業での学習を通して教科等のねらいを達成できるよう、学校全体の教育活動を活性化します。

さまざまな交流の推進

- 特別支援学校に通う子供と小学校・中学校に通う子供との交流を進めます。
- オンラインでの交流を広げ、一緒に学ぶことも進めていきます。



③ 社会の変化に対応した取組

障害のある子供たちが、デジタルを活用して学んだり、スポーツや芸術に取り組んだりすることで、社会に参加できるようにします。

デジタルを活用した学習の充実

- デジタル教科書やデジタル教材を使い、分かりやすく学ぶことができるようにします。
- 一人1台タブレットパソコンを活用して、教材を工夫したり、複数の課題を作成したりして、個に応じた学習を進めていきます。

スポーツ・芸術教育などの推進

- ボッチャなどの障害者スポーツを通して体と心を育て、多くの人と交流できるようにしていきます。
- 音楽鑑賞教室など、本物に触れる機会をつくり、豊かな感性を育みます。



推進計画に基づいた各校の取組

要小学校

第3学年 理科「音をつたえよう」



太鼓、トライアングル、シンバルなどの楽器は、音が出るときに震えているかどうか、予想を立て、グループごとに実際に音を出して確認しました。ワークシートを数種類用意し、書くことが苦手な児童も参加しやすくなりました。

自分たちでどのワークシートを使うかを事前を選択することで、何をするのが明確になり、主体的に学習を進めることができました。

